

2019年8月29日

報道関係各位

中部学院大学  
中部学院大学短期大学部

関市 関市社会福祉協議会と連携

## 被災地の訪問調査に学生が参加 被災者の現状を学ぶ

昨年7月、台風7号および梅雨前線等の影響による集中豪雨「平成30年7月豪雨」で被災を受けた関市東地区在住の方を対象にした訪問調査に学生が参加します。

今回の訪問調査は、被災者の健康や生活、意識の変化を確認し、今後の施策に生かせるようにと、関市が2回に分けて実施します（委託先：関市社会福祉協議会）。

本学では昨夏、学生らが中心となり、上之保地区や武儀地区で、清掃などのボランティア活動を展開しました。その活動を機に、今回の訪問調査の参加につながりました。

参加する学生は、人間福祉学部人間福祉学科、看護リハビリテーション学部看護学科の学生や教職員約50人。**将来、ソーシャルワーカーや保健師を目指しています。現役の社会福祉士や保健師に同行しながら、被災者の生の声を聴き、学びを深める場**としても期待されます。

訪問調査では、聴き取りをはじめ、防災減災対策として、ハザードマップの確認などライフラインチャートの調査も行う予定です。

### 記

- **日時** 2019年9月7日（土）午前10時～午後4時半（詳細は別紙参照）  
※全2回実施（8月21日に1回目を実施。122軒訪問済）
- **場所** 集合（富野ふれあいセンター）  
調査 関市 武儀地区 （大門／柳瀬／町／殿村／上野／多良木／坊地／本郷／中央／古野／上大野）  
富野地区 （上日立／下日立）  
上之保地区（和田の就業者貸付住宅ほか）
- **参加者** 中部学院大学の学生、教職員 約50人  
（人間福祉学部人間福祉学科、看護リハビリテーション学部看護学科）
- **調査対象** 住宅が床上浸水・半壊・大規模半壊・全壊の被災を受けた  
約250世帯550人（18歳以上）

【当日の流れ】

9:30 富野ふれあいセンター到着

10:00 調査開始（班に分かれて出発）

[訪問地域]

- ・武儀（大門／柳瀬／町／殿村／上野／多良木）
- ・富野（上日立／下日立）

12:00 昼食（富野ふれあいセンター）

13:00 調査再開（班に分かれて出発）

[訪問地域]

- ・富野（坊地／本郷／中央／古野／上大野）
- ・上之保（和田野就業者貸付住宅）
- ・その他（不在者宅などへ訪問）

16:00 富野ふれあいセンター集合

16:30 終了

以上

（本件に関するお問い合わせ先）

中部学院大学 地域連携センター（担当：浅野）

TEL:0575-46-7158 E-mail [chiiki@chubu-gu.ac.jp](mailto:chiiki@chubu-gu.ac.jp)